

Workshop 2015 Department of Metallurgical Engineering, Chulalongkorn University & Joining and Welding Research Institute Osaka University

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業運営委員会 副委員長 西川 宏
スマートプロセス研究センター スマートグリーンプロセス学分野 准教授

2015年8月5日にタイ・バンコクで、タイで最も古い歴史をもつチュラロンコン大学と当研究所による初めての二国間ワークショップ“Workshop 2015: Department of Metallurgical Engineering, Chulalongkorn University & Joining and Welding Research Institute Osaka University”が開催されました。2015年2月に締結されたチュラロンコン大学工学部と当研究所との部局間学術交流協定に基づき、両部局の研究紹介、さらには今後の国際共同研究、双方向での人材交流などの実施を目指し開催されました。ワークショップにはチュラロンコン大学から工学部長を含む冶金工学科の教員が16名、当研究所からは田中所長を含む4名の教員が参加しました。

ワークショップ当日は、チュラロンコン大学工学部長・Prof. Peerayuth Charnsethikulの開会挨拶の後、工学部の歴史等が紹介され、冶金工学科長のDr. Panyawat Wangyaoからは、冶金工学科のメンバーや研究概要の紹介が行われました。続いて田中所長から、当研究所の歴史や組織、

研究概要の紹介が行われました。その後、チュラロンコン大学側から5件、当研究所から4件の溶接接合、材料科学に関する研究発表が行われました。チュラロンコン大学側からも”Effect of TIG Pulse Current and Nitrogen Content in Argon Shielding Gas on Microstructure and Mechanical Properties of 15Cr-4Ni-8Mn-1.3Cu Stainless Steel Weld Metal”や”In Situ Observation and Material Modelling”、”Characterizations of different approaches to soldering micro-level contacts”など幅広い発表が行われ、それぞれからの研究発表に対して活発な議論が行われ、お互いの研究活動を知る良い機会となりました。またワークショップ終了後には、今後の具体的な取り組みや人材交流についての話し合いが熱心に行われました。今後、さらに両者の学術交流や国際共同研究の推進が期待されます。

(本シンポジウムは、本学の平成27年度大阪大学国際合同会議助成からの助成を受けて実施されたものです。)

